

東京音楽大学 弦楽アンサンブル

第31回演奏会

2021年10月24日(日) 14:00開演 13:15開場

TCMホール(東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス)

入場無料・全席指定 ※入場にはチケットが必要です

すぎやま こういち／
チェロと弦楽合奏のための
「OKINAWA」

A.ヴィヴァルディ／
ヴァイオリン協奏曲集『和声と創意の試み』
作品8より 第1-4番「四季」

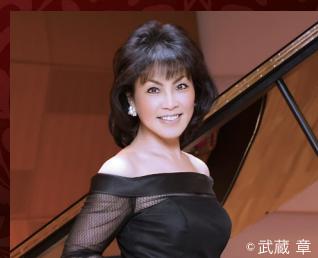
F.メンデルスゾーン／
ヴァイオリン、ピアノと弦楽のための
協奏曲ニ短調



指導・ヴァイオリン：竹澤 恭子



指導・チェロ：山本 裕康



ピアノ：小川 典子

演奏：アンサンブル・エンドレス (賛助出演・チェンバロ：鴨川 華子)



2021年9月15日(水)10:00より一般予約受付開始
<https://www.e-get.jp/TCM/pt/>

東京音楽大学チケットサイト [検索](#)



当公演は、後日、東京音楽大学 演奏会情報チャンネルにて
動画配信の予定です。

▶東京音楽大学演奏会情報チャンネル



※チケットのお申し込みには会員登録(登録無料)が必要となります。
※発券の際、1枚ごとに事務手数料385円(消費税を含む)がかかりますので、ご了承ください。
※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。
※ご来場の際には、日本政府の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のご活用をお願いいたします。

本公司は新型コロナウイルス感染拡大を受け、対策を講じて行います。
詳細は裏面及び本学チケットサイトをご覧ください。

東京音楽大学 弦楽アンサンブル 第31回演奏会

Tokyo College of Music String Ensemble

アンサンブル・エンドレス | String Ensemble Endless

アンサンブル・エンドレスは、1990年に兎東俊之教授指導の下に組織された弦楽アンサンブルで、津田ホール、サントリーホール ブルーローズ（小ホール）、カザルスホール、トップパンホール、東京音楽大学100周年記念ホール、TCMホール等で定期的に演奏会を行ない、高い評価を得ている。2000年10月カザルスホールに於いて発足10周年記念演奏会、2010年10月トップパンホールに於いて第20回記念演奏会を行ない、2020年に第30回演奏会をTCMホールで開催した。

レパートリーも、モーツアルト、シューベルト、メンデルスゾーン、チャイコフスキ、レスピーギ、ブロッホなどにとどまらず、芥川也寸志、武満徹などの邦人作品も含め、古典派から現代音楽に至るまでの広範囲にわたっている。

現在も兎東俊之名誉教授の意志を引き継ぎ、毎年開催される演奏会に向けて、本学弦楽器教授・講師陣が指揮、指導、演奏を行なっている。

鴨川 華子 | Hanako Kamogawa

東京音楽大学ピアノ科を経て同大学研究科チェンバロ専攻修了。ピアノを武田真理、チェンバロを渡邊順生の各氏に師事。第9回国際古楽コンクール（山梨）チェンバロ部門にて最高位。第7回栢木[蔵の街]音楽祭賞受賞。ブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門にてディプロマ受賞。ソロ活動の他、通奏低音奏者として多くのアーティストと共に演奏、録音にも参加している。「ジョーバン・バロック・アンサンブル」メンバー。

東京音楽大学主催演奏会 運営について

東京音楽大学主催演奏会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。右記QRコードで東京音楽大学ホームページの「東京音楽大学主催演奏会の運営について」を必ずご確認の上、マスク着用にてご来場ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。



■会場案内

東京音楽大学 <https://www.tokyo-on dai.ac.jp/>

中目黒・代官山キャンパス TCMホール（ホール入口は3階 代官山駅側）



竹澤 恭子 | Kyoko Takezawa

3歳からヴァイオリンを始め、桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、黒柳賞を受賞。1986年第2回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾る。以来、“世界のKYOKO TAKEZAWA”として国際的スターダムを昇り続けている。これまで、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、フィラデルフィア管、モントリオール響、ロンドン響、モスクワ放響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バンベルク響、バイエルン放響、リヨン管、フィンランド放響、ローマ・サンタ・チエチーリア管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管など、世界的主要オーケストラと共に演奏。指揮者では、クルト・マズア、ズービン・メータ、レナード・スラットキン、シャルル・デュトワ、リッカルド・シャイー、ケント・ナガノ、クリストフ・エッシュンバッハ、ヘルベルト・ブロムシュテット、小澤征爾らと共に演奏している。2011年フィルハーモニア管弦楽団のスペインツアーや、2012年ヘンゲルブルック指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団の日本公演で共演、2014年には東京フィルハーモニー交響楽団100周年記念ワールドツアーのソリストを務め、高い評価を得た。2018年シーズンはデビュー30周年を迎え、各地でリサイタルツアーを成功させた。また、才能教育研究会で学んだ経験を生かし、教育活動とともに、メニューイン、ロン=ティボーなど国際コンクールの審査員を数多く務める。アスペン、ルツェルン、水戸室内管弦楽団、セイジオザワ松本フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭への参加など、世界的な音楽祭にも出演を重ね、協奏曲、室内楽、リサイタルと幅広く活躍。CDは、RCAレッド・シールより多数リリース。第3回出光賞、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞。使用楽器は、1724年製アントニオ・ストラディヴァリウス。現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。

■オフィシャルHP <http://www.kyokotakezawa.com/>



© 松永 学

山本 裕康 | Hiroyasu Yamamoto

桐朋学園大学卒業。在学中1987年第56回日本音楽コンクール第1位、第1回日本室内楽コンクール第1位等数々の受賞歴を持つ。卒業後キジアーナ音楽院で室内楽のディプロマを取得。これまで東京都交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を歴任。サイトウ・キネン・オーケストラ、宮崎国際音楽祭に毎年参加。2008年のバッハの無伴奏チェロ組曲全曲のCDを発表。現在 京都市交響楽団特別首席奏者、東京音楽大学専任講師、東京藝術大学非常勤講師、ススキメソッド特別講師。



小川 典子 | Noriko Ogawa

リーズ国際ピアノコンクール入賞以来30年以上、英国と日本を拠点に国際的で多彩な活動を展開中。BISより35枚目のCD「サティ：ピアノ独奏曲全曲集Vol.1『ヴェクサシオン』」、新譜リチャード・ドゥヴニオン「クラヴィレリアーナ」世界初録音発売中。2013、14年にBBCプロムスに連続出演。ポーランド放送響、モスクワ放送響、サンクトペテルブルク響、BBC響など英国ツアーのソリストとして出演。イギリス、フランス、ドイツ、ポーランド、韓国ほか音楽祭に招聘されリサイタルやマスタークラスを行う。リーズ国際、グリーン国際、クリーブランド国際コンクール審査員。浜松国際ピアノコンクール審査委員長。国際音楽コンクール世界連盟役員。英国ギルドホール音楽院教授。東京音楽大学特任教授。ミューザ川崎シンフォニーホールアドバイザー。ジェイミーのコンサート主宰。文化庁芸術選奨新人賞受賞。著書「夢はピアノとともに」。訳書「静けさの中から」。パンデミック禍も世界中の学生へ語りかけ、オンラインコンサート開催など精力的に行なっている。



© 武藏 章

■オフィシャルHP <http://www.norikooogawa.com/>